

アミロイド疾患病態メカニズム研究会

日時：12月3日(水) 13:20 - 17:00、4日(木) 9:30 - 15:10

場所：大阪大学蛋白質研究所1階講堂

参加費：無料
参加登録不要
懇親会は登録制
(有料)

12月3日 (水)

開会の挨拶

13:20 - 13:30

後藤 祐児 (大阪大学 大学院工学研究科)

蛋白質のアミロイド線維形成における過飽和現象の再訪

13:30 - 14:00

池中 建介 (大阪大学 大学院医学系研究科)

構造変換によるアミロイド線維低毒性化治療薬開発の試み

14:00 - 14:30

矢木 真穂 (名古屋市立大学 大学院薬学研究科)

アミロイドβタンパク質の線維形成の分子機構

14:30 - 15:00

休憩

上村 紀仁 (大阪公立大学 大学院医学研究科)

αシヌクレイン細胞間伝播に基づくシヌクレイノパチーの病態解明と治療法開発

15:30 - 16:00

村上 一馬 (京都大学 大学院農学研究科)

リシン標的型凝集阻害剤を基盤としたMisfolding病治療戦略

16:00 - 16:30

植田 光晴 (熊本大学 大学院生命科学研究部)

トランスサイレチンアミロイドーシスの病態解析

16:30 - 17:00

懇親会 (登録制) 18:30 -

登録はこちら(11/25締切)



12月4日 (木)

松木 陽 (大阪大学 蛋白質研究所)

スピン超偏極・固体NMRで生体内蛋白質凝集を見る挑戦

9:00 - 9:30

小野 賢二郎 (金沢大学 医学部)

アルツハイマー病に対する抗アミロイド抗体療法の現在と未来

9:30 - 10:00

中山 隆宏 (金沢大学 ナノ生命科学研究所)

高速AFMで迫るアミロイド凝集のリアルタイム構造動態と阻害剤の作用

10:00 - 10:30

休憩

関島 良樹 (信州大学 医学部)

脳および全身組織におけるATTRアミロイドーシスの病態解明と診断・治療法開発

11:00 - 11:30

樽谷 愛理 (東京都医学総合研究所)

アミロイド構造から紐解くタウオパチー病態

11:30 - 12:00

宗 正智 (京都大学 大学院農学研究科)

アミロイド線維多型の形成過程の追跡

12:00 - 12:30

昼食

堂本 裕加子 (日本医科大学 医学部)

迅速かつ正確なアミロイドタイピングの実現に向けて

13:30 - 14:00

相馬 洋平 (和歌山県立医科大学 薬学部)

アミロイドをつくる・壊す・活かす化学研究

14:00 - 14:30

菅瀬 謙治 (京都大学 大学院農学研究科)

アミロイド線維化過程の部位特異的測度論解析

14:30 - 15:00

閉会の挨拶

15:00 - 15:10

